

成熟期を迎えた



今年5月にオープンしたイオン高の原ショッピングセンター

関西文化学術研究都市は、総面積約1万5000㍍。うち文化学術地区は約3600㍍で、都市再生機構が約1800㍍を開発。全体が12のクラスターで構成され、21世紀にふさわしい多機能都市づくりが順調に進められている。

学研都市内の人団推移をみると、86年の開発時から約4倍の23万人を超えた。学研都市は、①文化の創造と交流②新しい学術研究の推進と新産業の創出③21世紀のモデル都市を掲げた大規模な多機能複合タウン。豊か

国家プロジェクト・関西文化学術研究都市がサードステージに入っている。京都、大阪、奈良の京阪奈丘陵を背景に、各種の先進施設や住宅などが整備され住み、憩い、働き、学ぶの多機能複合タウンを実現。昨年開業した近鉄「けいはんな線」も、壮大な街づくりに貢献する。豊かな自然と人との調和をめざす21世紀のモデル都市は、新たな素顔をみせる。

ロヒ
ル

関西文化学術研究都市

の街開きが行われて以来、住宅や各種施設などの建設が急ピッチ。また

昨年3月には、近鉄けいはんな線（生駒駅～学研奈良登美ヶ丘駅間）が開業、大阪の中心部・本町まで30分台で結ばれるなど、ぐんと便利になりました。

学術・研究に従事する研究者も増加、2006年には外国人も含めて約5700人が勤務。とくに、外国人の増加が顕著だ。学研都市の心臓部が

な自然環境を背景に住み、憩い、働き、学ぶのみならず、公園や緑地と調和して落ち着いた暮らしを演出する。安心・安全な街並みづくりも好評だ。

このほか学研都市内では、日本原子力研究開発機構関西光科学研究所、けいはんな新産業創出・

とくに「ハーモニーシティ木津」は、総面積約284㍍。豊かな緑と人の調和を軸に、快適なふるさと志向の街並みを演出。万葉の趣を強調しながら個性的なゆとり空間を確保した。順調に宅地募集が行われており、ゆったり感覚の土地スペースが好評だ。

公園も大きな魅力のひとつで、「梅美台公園」は約3・45㌶の広さを確保。芝生広場のほか展望デッキ、テニスコートなどが活力あふれる暮らしを支える。広大な学研都市は、歳月を重ねながら成熟期を迎えている。

多機能複合タウン

住み、憩い、働き、学ぶ

住宅、施設の建設急ピッチ

人口23万人超える

精華・西木津地区。早くに完成した国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、けいはんなプラザ、国際高等研究所、地域環境産業技術研究機構（RITE）など、多く

施設がオープンしている。また、近鉄高の原駅前で今年5月、イオン高

学

研

都

市

の研究施設が整う。

同地区はこれまで、都景観百選の大賞にも選ばれるなど、自然と調和した美しい雰囲気を放つ。とくに、住宅地を形成する光台（祝園）地区は、ゆったり感覚の一戸建てなどが、公園や緑地と調和して落ち着いた暮らしを演出する。

しがオープン、駅前開発に弾みをつけた。

全体開発のサードステージとして、街づくりに

拍車を掛けているのが木津地区。総面積約740㍍と最大級で、97年の街開き以来、南地区から順次開発が進められている。

の原ショッピングセンタ

ーがオープン、駅前開発に

弾みをつけた。